毎月第1日曜日発行

ちょうどいい！ 日刊 福井県民

さんぽみち

2026 vol.336 **10月号**

かわら版さんぽみち編集局

〒918-8116
福井市大町2-206-1 福井広報センター内
TEL：0776-28-2116 FAX：0776-28-8602
Eメール：osanpo@fukuikoho-c.co.jp
公式LINE

読書の秋 ブックカフェで新しい出合いを

町の本屋で ゆったりカフェ時間







天気が良い日にはテラス席も利用できる

「小泉今日子さん」コーナーも

鯖江市で約70年、地域に寄り添ってきた本屋「富士書店」。今の店主の代からはカフェを併設した。店内にはさまざまなジャンルの本はもちろん、おしゃれな雑貨も数多く並び、ワクワク感が楽しめる。本棚は「孤独」「辞典」「数学」など店主のチョイスでテーマごとにまとめられ、大きな書店では埋もれてしまいそうな一冊とも出合うことができる。「贈り物にしてもらえるような本選びを心がけている。」と店主。隣接する和洋菓子店「昭和堂」のケーキを味わいながら読書を楽しめるほか、不定期に夜カフェ営業や小さなマルシェも開催。小学生から90代まで幅広い世代が訪れる。町の本屋としての役割を残しながら、本に囲まれてゆっくり過ごす時間も楽しめる場所だ。

プレゼント

富士書店
住 鯖江市本町1-1-20 営 正午～午後6時
休 日・月曜日（臨時休業あり インスタグラムにて要確認）
P 3台
@FUJISYOTEN





記録に思いを巡らせ、記憶を懐かしむ憩いの空間





読書のお供に手作りのスイーツもおすすめ。一番人気の「にんじんケーキ」(350円)はクリームの酸味とふわふわ食感が絶品で、「コーヒー」(550円クッキー付き)との相性は抜群

福井市街地から離れた閑静な住宅街の一角にある、柔らかな灯りが心地よい空間。映像制作を手掛ける「そばに映像舎」の事務所を兼ねる形で運営されている。店内は、以前はコンビニだった建物のあっちこっちを生かし、冷蔵庫だった場所にオーディオ機器を収めるなど、当時を思い出させる箇所がちらほら。背板のない本棚で空間がゆるく仕切られ、店主がこだわって作った「区切られた空間でも、誰かいるのを感じられて寂しさがない」スペースで読書に没頭できる。

運営する丸山さん夫婦はこの場所で、個人が家庭で写したビデオテープや8ミリビデオなどを上映、保存し語り合う「小さな記録研究所」という活躍も行なっている。読書とともに、記憶を紐解(ひもと)く柔らかな時間を過ごしてみては。

午前9時30分～午後0時30分 朝喫茶 おしゃべりや読み聞かせOK

午後0時30分～5時 読書室 静かに読書を楽しむ時間

店内での写真撮影は一人1枚まで

あわい読書室
住 福井市江守の里2-1920
休 日・月・火曜日(不定休)
（営業時間・臨時休業はホームページまたはインスタグラムで要確認）
@SOBANI_AWAI
ホームページ

中日新聞 CHUNICHI 日刊県民福井

統合記念 大感謝祭 第3弾

～中日への愛着に感謝を込めて 福井の未来を、あなたと共に～

中日発行エリアより賞品を厳選！

10月のキーワード 「ラ」

A賞 石川 2名様 山代温泉『ゆのくに天祥』1泊2食付 ペア宿泊券
※ご利用は「平日のみ」となります 詳細は宿泊券の裏面をご確認ください

B賞 岐阜 6名様 飛騨牛の丸明 飛騨牛5等級サーロインステーキ5枚

C賞 愛知 10名様 うなぎの兼光 三河一色産 有頭蒲焼３尾

D賞 静岡 10名様 春華堂 WAGURI GELATO 栗の杜(6個入)

E賞 70名様 JCBギフトカード 2,000円分

さらにWチャンス！300名様に生活グッズプレゼント!!!

キーワードを探そう！ 1
応募期間中（9月・10月・11月）に日刊県民福井紙面、かわら版さんぽみち、休刊日案内チラシ、Cチケットチラシ等のどこかに「キーワード1文字」が掲載されます。

3つのキーワードを揃える！ 2
各月の「キーワード」を順番につなげてください。「3文字の言葉」が完成します！それが応募に必要な「キーワード」です。

プレゼントを選び応募する 3
必要事項（キーワード、ご希望の賞品（A賞～E賞）、住所、氏名、年齢、電話番号、職業、その他コメント）をご記入いただきハガキにて郵送（〒910-0005 福井市大手 3-2-13 中日新聞分室内 日刊県民福井・大感謝祭係宛）もしくは二次元コードよりご応募いただくか、お近くの販売店へお持ちください。
※1世帯1枚の応募とさせていただきます。
※応募は 11 月以降からできます。

応募締切 郵送 11 月 30 日(月)必着 二次元コード11 月 30 日(月)24 時
応募資格 日刊県民福井のご購読者または3ヶ月以上の新規購読者
当選発表 上位賞当選の中から代表者をかわら版さんぽみちにて発表
※掲載できないものは賞品の発送をもって代えさせていただきます。
お問合せ 日刊県民福井 読者センター 0120-888-291(平日 9 時～ 17 時半)

日刊県民福井 の購読のお申し込みは 0120-888-291 午前9時～午後5時30分(平日)へ

「そばと絵本 café ぶらっと」は、手打ちそばが自慢の癒やしカフェ



カウンター席とテーブル席があり、窓の外には絵画のような田園風景。店内には至る所に絵本に登場するキャラクターの「編みぐるみ」(直美さん作！)が顔をのぞかせ、一層温かい気持ちに



2階には蔵書が詰まった「家庭文庫」がある。希望者はその場で申し込めば利用できる(団体やグループでの利用は予約がお薦め)

そば打ち歴約40年の青木浩一さん(69)と、絵本を通じた心理療法(絵本セラピー)の資格を持つ青木直美さん(64)が営む店で、オープンして8年目になる。店内には3,000冊を超える蔵書の中から、季節に合わせた絵本をセレクトして配置。色鮮やかな表紙は見ているだけでも楽しい。直美さんは「絵本には子どもたちに届けたい大切な言葉がギュッと詰まっています」と話す。さらに、「少ない文字数でも『起承転結』がある。余白があるので『行間を読む』楽しさもあります」と、大人ならではの楽しみ方も紹介する。自慢の十割そばやコーヒーには石川県能美市の「遣水(やりみず)観音霊水」を使って提供。夫妻とのおしゃべりを楽しみに訪れるほか、そば目当てのおじさま方も多いのだとか。

おやゆび姫

「おろしそば」(700円)※予定数がなくなり次第終了
このほか、ざるそばや炊き込みご飯もある。コーヒー・紅茶・抹茶はそれぞれお菓子付きで450円



さんびきのこぶた



くりとくら



ヘンゼルとグレーテル



青木浩一さんと直美さん。「絵(視覚)と耳(聴覚)と声(声楽)で楽しむ絵本の読み聞かせは総合芸術」と話す直美さん。大人にも(大人にこそ)絵本の魅力を伝えたいそうだ



だるまさんたち

そばと絵本 café ぶらっと
住 あわら市河間12-21
問 080-8997-4703
営 午前10時～午後6時
休 水・木曜日 P あり



新聞ちぎり絵コンテスト

Shimbun Paper collage

「福井を代表する○○」をテーマにした新聞ちぎり絵コンテストを開催しました。約200点の応募作品を3か月にわたりご紹介させていただきます。



小寺 なつきさん(福井市)



小寺 実香さん(福井市)



林 ひとみさん(福井市)



加藤 ち糸子さん(福井市)



山田 美鈴さん(福井市)



橋本 幸代さん(福井市)



佐々木 生子さん(福井市)



桑原 康輔さん(福井市)



井上 蒼大朗さん(福井市)



浅野 真由さん(福井市)



津田 節江さん(福井市)



佐々木 生子さん(福井市)



高村 紀子さん(福井市)



徳島 三智男さん(福井市)



横田 富枝さん(福井市)



津田 節江さん(福井市)



林 ひとみさん(福井市)



林 ひとみさん(福井市)



諏訪 絹子さん(福井市)



西 ナヲミさん(福井市)



諏訪 智さん(福井市)



森田 萩士さん(福井市)



平山 まさ子さん(福井市)

寺前 光雄さん(福井市)

木村 志津子さん(福井市)

津田 節江さん(福井市)

川島 和子さん(福井市)

津田 節江さん(福井市)

間宮 千鶴さん(福井市)

小寺 まゆみさん(福井市)

諏訪 のぶ子さん(福井市)

川島 和子さん(福井市)

東 悦子さん(福井市)

横田 富枝さん(福井市)

山田 喜美子さん(福井市)

諏訪 照美さん(福井市)

徳島 三智男さん(福井市)

打波 美美子さん(福井市)

間宮 千鶴さん(福井市)

森 夏凛さん(福井市)

打波 美美子さん(福井市)

森山 一美さん(福井市)

岩佐 のぶ子さん(福井市)

間宮 千鶴さん(福井市)

森田 七葉さん(福井市)

幸谷 登紀子さん(福井市)

寺前 光雄 さん(福井市)

吉田 紀美枝さん(福井市)

田中 喜美枝さん(福井市)

小寺 りんご さん(福井市)

諏訪 のぶ子さん(福井市)

安間 厚子さん(福井市)

幸谷 和子さん(福井市)

小寺 いちごさん(福井市)

さんぽみちは皆さまの声でできています。「気になるお店」や「取材してほしい人」など、最寄りの販売店または さんぽみち編集局へ！

次号の発行日は11月1日(日)。お楽しみに!!